

◇————◇
公益社団法人 日本航空機操縦士協会
メールマガジン Vol.124 2023/9/15
◇————◇

いつも JAPA メールマガジンをご愛読頂きありがとうございます。
今号は以下の内容でお送りいたします。

★————INDEX————★

- [1] 【航空局】令和5年度安全運航セミナーにつきまして
- [2] 【航空局】「小型航空機用 FDM 導入ガイドライン」の策定について
- [3] 【航空局】航空従事者技能証明の限定について
- [4] 【お知らせ】スカイスクエア熊本の開催
- [5] 【お知らせ】前田伸二さん 講演会「I'm possible. You're possible!
～夢の実現に向けたキャリア形成」
- [6] 【VOICES FEEDBACK】
<① Landing Clearance がまだ来ない><② 民間訓練試験空域の
使用について>
- [7] 【お知らせ】JAPA E-Journal の公開
- [8] 【お知らせ】セミナー・イベント
- [9] 【ご案内】公益社団法人 日本航空機操縦士協会 ご入会について

※予定しておりました「常務理事コラム」は都合により休載させて
いただきます。

- ★————
- [1] 【航空局】令和5年度安全運航セミナーにつきまして
- ★————

航空局 安全政策室より、航空局主催の「安全運航セミナー」につ
いて、今年度も昨年同様に対面及びリモートによるハイブリッド形
式で開催する旨、連絡がありましたので添付のとおりご案内いたし
ます。

<https://www.japa.or.jp/8378>



[2] 【航空局】「小型航空機用 FDM 導入ガイドライン」の策定について



飛行中に記録した位置情報や映像等のデータを操縦の振り返り等に活用することにより、小型航空機の操縦士の技量向上等が期待される簡易型の飛行記録装置（FDM 機器）の小型航空機への導入の促進を図るため、FDM 機器の取り付け時の留意点等を盛り込んだ「小型航空機用 FDM 導入ガイドライン」を策定しましたので、お知らせいたします。

<https://www.japa.or.jp/8266>



[3] 【航空局】航空従事者技能証明の限定について



国土交通省航空局より「航空従事者技能証明の限定について」、8月16日付けで一部を改正した旨の連絡を受けましたのでお知らせします。

<https://www.japa.or.jp/8296>



[4] 【お知らせ】スカイスクエア熊本の開催



GA 委員会は九州支部との合同で「空の日」に参画し、スカイスクエア熊本を開催いたします。

イベント内容として、VR 操縦体験、塗り絵大会、ポータブル FTD、
フライングモデルプレーン作成等を行う予定です。

皆様、是非お立ち寄りください。

staff 一同、心よりお待ちしております。

【日時・場所】

・空の日フェスタ 2023 in 阿蘇くまもと空港 (10/14/2023 10:00～
16:00)

熊本国際空港株式会社

詳細は HP をご参照ください。

<https://www.japa.or.jp/8308>

★

[5] 【お知らせ】 前田伸二さん 講演会 「I'm possible. You're possible!
～夢の実現に向けたキャリア形成」

★

単独世界一周フライトを成し遂げた隻眼のパイロット 前田伸二氏が、
夢の実現に向けてどの様に人間関係を気づき、キャリアパスを構築
してきたか、夢をかなえる途中で直面した挫折や困難をいかに乗り
越えてきたのか、夢に向かって諦めずに挑戦することの大切さに
ついて語ります。

詳細は HP をご参照ください。

<https://www.japa.or.jp/8373>

★

[6] 【VOICES FEEDBACK】

<① Landing Clearance がまだ来ない><② 民間訓練試験空域の
使用について>

★

<① Landing Clearance がまだ来ない>

〇〇空港 ILS RWY△△R on Final で TWR に Contact すると、“Continue Approach, One DEP Before Your Landing”。500ft を過ぎ Hundred Above のころ先行機の離陸を確認し、Short Final で Landing Clearance を待つ。『まだ Clearance きていませんよね?』と副操縦士より Assertion。『そうだよね!』と呑気な返しをしていると、GND Traffic へ“Cross RWY△△R”と発出されたので一気に緊張感が高まる。当該機も“Cross RWY△△R”とリードバック。我々の存在を忘れて・い・ま・せ・ん・か?? ここで Confirm して、交信が輻輳または一部分が欠落しては、ちょっとオーバーになるがテネリフェになりかねないと思うと同時に、低高度からの GoAround だと 1,200 ft LVL OFF、高度逸脱、経路逸脱、SPD 超過、と乗員にとっては Threat 満載で色々な事象が頭をよぎる。でも、やはり Go-Around だと思いい、『止めよう! Go-Around!』(GOOD)。

ATC から“Follow Missed Approach”に続き、RADAR Vector 開始。安全上十分な間隔が確保できず着陸を取りやめたこと、10分後に着陸の見込みで安全上の問題がないことをアナウンスし、客室乗務員にも同様に伝えた。その後 Visual Approach が許可され、凡そ 10分後に RWY△△L に着陸。地上走行中に ATC から“ご迷惑お掛けして申し訳ありませんでした”と言われたので、エラーはお互い様ですから、極めて明るく何事もなかったかのように「You Are Welcome. No Problem」と返答した。Spot-In 後、Company Radio を通じて、ATC が当該便の存在を一時的に失念し、他機に横断許可を発出、直ぐに横断許可を取り消したが、既に自機が Go-Around を開始していた、と説明があった。思い違い、勘違い、失念は避けられる訳もなく仕方がない。副操縦士の Good Assertion、低高度からの Go-Around で 1,200ft Level Off を難なくこなすエアバスの Auto Pilot、全ての Safety-Net が上手く作用し幸運だった。

☞ VOICES コメント

低高度でクリアランスを Confirm することにリスクがあると判断し、Go Around を行い、Threat の多い Missed Approach Procedure を適切に行うことができたマネジメントは素晴らしいですね。また管制官もヒヤリとした事例かと思います。この事例に限らず、管制官側の事情・背景も共有していただくことが有益だと考えますので、管制官からの投稿も是非ともお願いします。

<② 民間訓練試験空域の使用について>

(その1) 民間訓練試験空域の管理を行っている ATMC の担当者 (の一人) です。民間訓練試験空域に入域していた航空機が、訓練終了時刻を 0700z としていたところ、0715z に離脱した旨 Controlling Facility に連絡があった。同空域の次の訓練予定は 0745z だったので危険な状況にはならなかったが、使用者と思われるところに電話をしたところ、軽い返事で深刻に受け取られていないようだったので、「危険ですので以後気を付けてください」と注意喚起をした。

(その2) 民間訓練試験空域の管理を行っている ATMC の担当者 (の一人) です。ある民間訓練試験空域において、空域使用者の出域が確認できないまま終了の時刻を迎えた。終了直後 0230Z から別の使用者の訓練計画が入っていたため、通信設定機関 (Communication Facility) に連絡したところ、入域の報告はあったが、出域時刻連絡はまだ無いとの回答があった。次の訓練計画が予定されているため、すぐに当該機と通信設定をして出域時間を受領するように通信設定機関へ依頼するとともに、空域使用者の担当者 (地上職員) にもクルーに出域時刻を確認してほしい旨依頼した。その後、通信設定機関を介して出域時刻は 0245 (出域予定時刻から 15 分超過) との連絡があり、また空域使用者の地上職員からも同様の連絡があった。0230Z から予定されていた訓練計画の空域使用者はたまたま入域が遅れ、この時点で当該民間訓練試験空域には未入域であったため事なきを得た。

☞ VOICES コメント

自分が後続の訓練機であった場合のことを考えると、承認を受けた使用計画書の内容 (入出域予定時刻) の遵守の重要性は十分に理解できますね。 112. 離陸上昇中のバードストライク回避操作



[7] 【お知らせ】 JAPA E-Journal の公開



E-Journal を公開致しました。

ぜひご覧ください。

《運航技術委員会》

・【JAPA E-Journal 2023-006】

「タイムプレッシャー」

・【JAPA E-Journal 2023-007】

「ライトスポーツ航空機 LSA(Light Sport Aircraft) の革新 "MOSAIC" の概要」

・【JAPA E-Journal 2023-009】

「ヘリコプターの運用中に起きるいろんな出来事」

《ATS 委員会》

・【JAPA E-Journal 2023-008】

ATC 再発見 Vol.040 【進入管制区の速度制限改正】

・【JAPA E-Journal 2023-010】

ATC 再発見 Vol.041 【MEA 未満への降下ってできるの！】

<https://www.japa.or.jp/e-journal>

★

[8] 【お知らせ】 セミナー・イベント

★

《第 11 回 SRM セミナー》

9 月 29 日東京開催

<https://member2.japa.or.jp/seminar/detail.php?sid=1>

《Fly with us～空の仕事ワークショップ～》

10 月 14 日愛知開催

10 月 28 日福岡開催

11 月 18 日大阪開催

<https://member2.japa.or.jp/seminar/detail.php?sid=4>

《ATS シンポジウム》

10 月 28 日オンライン開催

※お申込は航空交通管制協会 http://atcaj.or.jp/?page_id=1161

《航空気象シンポジウム》

11月18日東京開催

<https://member2.japa.or.jp/seminar/detail.php?sid=7>

《航空安全講習会》

12月02日大阪開催

<https://member2.japa.or.jp/seminar/detail.php?sid=3>

《第19回 TEM/CRM セミナー》

12月12日東京開催【前半】

12月13日東京開催【後半】

<https://member2.japa.or.jp/seminar/detail.php?sid=1>

《セミナー・講習会受講に際しての注意事項》

JAPA が主催するセミナー・講習会等のイベント開催につきましては、新型コロナウイルスの感染拡大を予防するため、ご参加のみなさまへの注意事項や連絡事項を取り決め、当該運用手順に従い遂行してまいりました。

この度、厚生労働省ならびに東京都福祉保健局によって示された「2023年3月13日以降のマスク着用の考え方」に従い、今後、同年4月1日以降に開催されるセミナー・講習会へのご参加にあたりましては、改めて下記内容をご確認いただきますようお願い申し上げます。

<https://www.japa.or.jp/wp-content/uploads/2023/04/japa20230401.pdf>

尚、その他のセミナー・イベント情報に関しましては随時ホームページ及びメールマガジン等でご案内致しますので、少々お待ちくださいますようお願い申し上げます。

★

[9] 【ご案内】 公益社団法人 日本航空機操縦士協会 ご入会について

★

JAPA では会員を募集しております。

ご入会いただけますと、AIM JAPAN の配布の他、団体割引を適用した、JAPA 団体保険（ロスオブライセンス）へのご加入も可能ですので、ぜひご検討ください。

詳細は以下ホームページよりご覧ください。

オンライン入会を導入いたしましたので JAPA ホームページからすぐに入会手続き可能です。

皆様のご入会を心よりお待ちしております。

<https://www.japa.or.jp/member>

★次回の配信は 10 月中旬を予定しております★

JAPA メールマガジンの配信先変更方法及び配信停止方法については以下、ご参照の上、お手続きください。

<https://www.japa.or.jp/mail-magazine>

【発行】公益社団法人 日本航空機操縦士協会

電話 03-6809-2902

メール japa@japa.or.jp

ホームページ <https://www.japa.or.jp/>
